

日本道德教育学会第103回（令和6年度春季）大会プログラム

日本道德教育学会 会長 永田 繁雄
第103回大会運営委員長 東風 安生

日本道德教育学会会員及び関係各位におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本学会第103回（令和6年度春季）大会を北陸大学で開催させていただき運びとなりました。能登半島地震により多くの方々が被災され復旧・復興の途中にありますが、本学会を通して被災地に元氣と希望を届け、復旧・復興の一助にと開催を計画しました。多くの会員のご参加をお願いいたします。

大会テーマ

ウェルビーイングと道德教育

■ 大会テーマ設定の趣旨

VUCA と呼ばれる変化の激しい時代にあつて、学校は中央教育審議会の答申を受け、「個別最適な学びと協働的な学び」の実現に向け、変革が進められています。道德教育に関して見ると、授業研究を中心に個別最適な学びと協働的な学びの一体的な指導の研究が盛んに行われています。1997年からOECDはDeSeCoプロジェクトを始め、検討する過程でウェルビーイングをOECD Education 2030プロジェクトの目標としてきました。児童生徒は、コンピテンシーを身につけて、ラーニング・コンパスを用いて歩んでいきます。教育現場がウェルビーイングを基調に変化するなかで、道德教育はウェルビーイングの実現に向けて何ができるでしょう。ウェルビーイングと道德教育の関係性をどのようにとらえたらよいのでしょうか。

本大会では、「ウェルビーイングと道德教育」のつながりに焦点を当て、テーマに関して先進的に実践・研究を進める方々を招き、会員同士の活発な交流をもとに探っていきたいと思います。

【大会概要】

- 開催日： 2024（令和6）年6月29日（土）・30日（日）
- 会場： 北陸大学（太陽が丘キャンパス）
- 主催： 日本道德教育学会
- 後援： 文部科学省（申請中）、石川県教育委員会、金沢市教育委員会、全国小学校道德教育研究会、全国中学校道德教育研究会、全国公民科・社会科教育研究会
- 参加費： 参加費 一般：3,500円 / 学部学生：2,000円
情報交換会費 : 5,500円
- 参加申込： 日本道德教育学会のウェブサイト、または右の二次元バーコードでPeatix（ピーティックス）から、参加申し込み下さい。



<https://peatix.com/event/3834477>

大会の参加申し込み期限は、6月15日（土）17:00までとなります。なお、大会当日の参加申し込みはできません。事前申し込みにご協力をください。

- 大会事務局 北陸大学 太陽が丘キャンパス 板倉栄一郎研究室内
〒920-1180 金沢市太陽が丘1-1 Tel : 090-2466-6690
Email: jsme103hokuriku@gmail.com

※問合せは原則としてメールにてお願いいたします。

大会日程

大会1日目 2024年6月29日(土)	
12:30～	大会参加受付 【2号棟 エントランスホール】
13:30～13:50	開会行事 【2号棟 2階 201大講義室】
14:00～15:30	基調講演：白井 俊（内閣府 科学技術・イノベーション会議事務局参事官） 演題 「日本の教育とウェルビーイング～国際的な視点から～」 【2号棟 2階 201大講義室】
15:50～17:50	ラウンドテーブル12部会 【2号棟 3・4階 各教室】
18:10～20:00	情報交換会 【2号棟 1階 カフェテリア】
大会2日目 2024年6月30日(日)	
8:30～	大会参加受付 【2号棟 エントランスホール】
9:00～11:50	自由研究発表（各発表：発表20分、質疑10分）14分科会 【2号棟 2・3・4階 各教室】
12:00～13:00	昼食・休憩 【2号棟 1階 カフェテリア】
13:00～14:00	会員総会 【2号棟 2階 201大講義室】
14:10～16:10	シンポジウム： テーマ「ウェルビーイングと道德教育 - 道德教育の現状とこれからの展望」 【2号棟 2階 201大講義室】 コーディネーター： 走井 洋一（立教大学） シンポジスト： 柴田 和美（石川県小松市立串小学校） 園山久美子（神奈川県横浜市立樽町中学校） 高嶋 智之（金沢高等学校） 荒木 寿友（立命館大学）
16:10～16:20	閉会行事 【2号棟 2階 201大講義室】

【 2024 年 6 月 29 日 (土)】

■ 開会行事 (13 : 30 ~ 13 : 50)

会場 : 2 号棟 2 階 201 大講義室

- 1 会長挨拶 永田 繁雄 (日本道德教育学会会長)
- 2 開催校挨拶 小倉 勤 (北陸大学 理事長)
- 3 大会運営委員長挨拶 東風 安生 (北陸大学 学長)

■ 基調講演 (14 : 00 ~ 15 : 30)

会場 : 2 号棟 2 階 201 大講義室

白井 俊 (内閣府 科学技術・イノベーション会議事務局参事官)
演題 「日本の教育とウェルビーイング～国際的な視点から～」

■ ラウンドテーブル<12 部会> (15 : 50 ~ 17 : 50)

会場 : 2 号棟 3・4 階

第 1 部会

【 2 号棟 3 階 311 教室 】

テーマ 「道德教育学と道德科教育学の構築」

企画者 : 柳沼 良太 (岐阜大学)
司会者 : 田沼 茂紀 (國學院大學)
報告者 : 行安 茂 (岡山大学名誉教授)
柳沼 良太 (岐阜大学)

第 2 部会

【 2 号棟 3 階 312 教室 】

テーマ 「主体的な生き方を探求する子どもの道德学習 - 『伴走者』たる教師が仕組むカリキュラム・デザインとは -」

企画者 : 幸阪 創平 (東京学芸大学附属竹早小学校)
司会者 : 和井内良樹 (宇都宮大学)
報告者 : 古見 豪基 (和光市立第四小学校)
丸山 農 (株式会社 Study Valley)
浅部 航太 (東京学芸大学)
幸阪 創平 (東京学芸大学附属竹早小学校)
指定討論者 : 永田 繁雄 (東京学芸大学)

第 3 部会

【 2 号棟 3 階 313 教室 】

テーマ 『自己の (人間としての) 生き方についての考えを深める学習』とは? (2) - 内容項目が道德性を養う『手掛かり』であるとはどういうことか? -」

企画者 : 高宮 正貴 (大阪体育大学)
報告者 : 杉中 康平 (四天王寺大学)
磯部 一雄 (札幌市立西岡北中学校)
近野 秀樹 (立命館慶祥中学校・高等学校)
由良 健一 (尼崎市立わかば西小学校)

第4部会

【2号棟 3階314教室】

テーマ 『『生きること』と『Well-being』』

企画者： 高口 涼 (富士市立東小学校)

司会者： 島 恒生 (畿央大学)

報告者： 柴田 和美 (小松市立串小学校)

柴田 八重子(愛知淑徳大学)

石川 雅春 (名古屋学芸大学)

日置 健児朗(熊本県立小国支援学校)

柴 正樹 (豊山町立豊山中学校)

木村 彰浩 (株式会社MIMIGURI)

高口 涼 (富士市立東小学校)

指定討論者：押谷 由夫 (昭和女子大学名誉教授)

第5部会

【2号棟 3階316教室】

テーマ 「中学校道徳科を充実させるために③」

企画者： 佐々木篤史 (弘前大学教育学部附属中学校)

報告者： 鈴木 賢一 (弥富市立十四山東部小学校)

大舘 昭彦 (流山市立南部中学校)

渡邊 真魚 (日本大学)

飯塚 秀彦 (長野大学)

第6部会

【2号棟 3階302教室】

テーマ 「ウェルビーイングを子供と共に創る主体としての教師の役割～発達段階を考慮した道徳授業の再構成～」

企画者： 阪本 景子 (東海市立名和中学校)

司会者： 糟谷 樹理 (仙台市立北六番丁小学校)

報告者： 阪本 景子 (東海市立名和中学校)

糟谷 樹理 (仙台市立北六番丁小学校)

猪岡 養子 (横手市立大森小学校)

末永 萌香 (塩竈市立第三小学校)

指定討論者：長谷川 元洋 (金城学院大学)

柳橋 晃 (茨城キリスト教大学)

第7部会

【2号棟 3階301教室】

テーマ 「幼小中高の道徳教育をつなぐ」

企画者： 山田 将之 (盛岡市立上田中学校)

司会者： 荒木 寿友 (立命館大学)

報告者： 松下 恭平 (名古屋市立二城小学校)

杉本 遼 (足立区立足立小学校)

山田 将之 (盛岡市立上田中学校)

山本 智也 (筑波大学附属駒場中・高等学校)

指定討論者：荒木 寿友 (立命館大学)

星 美由紀 (郡山市立郡山第三中学校)

第8部会

【2号棟 4階404教室】

テーマ 「食育関連教材による根源的な共生意識の醸成 - 人体の共生構造と生命システムとしての共生、食における社会的共生の理解に向けて - 」

企画者： 鍵水 浩 (育英大学)
報告者： 鍵水 浩 (育英大学)
池田 樹 (南魚沼市立塩沢小学校)
手塚 貴子 (育英大学 有限会社フルーヴ)
植田 清宏 (大手前大学)

第9部会

【2号棟 4階405教室】

テーマ 「どうする、これからの道德教育 - ネガティブケイパビリティを育てる道德授業」

企画者： 白木 みどり (金沢工業大学)
司会者： 白木 みどり (金沢工業大学)
報告者： 平 真由子 (金沢工業大学)
丸岡 慎弥 (立命館小学校)
森 直也 (和歌山市立岡崎小学校)
佐藤 皓 (上越教育大学大学院生)

第10部会

【2号棟 4階406教室】

テーマ 「ウェルビーイングと道德教育」

企画者： 高橋 史朗 (麗澤大学)
報告者： 鄭 雄一 (東京大学)
光吉 俊二 (東京大学)
及川 直人 (八街市立朝陽小学校)
山崎 敏哉 (世田谷区立山崎小学校)
早田 保美 (川崎市立久本小学校)

第11部会

【2号棟 4階402教室】

テーマ 「当事者性に基づく道德科授業の構想」

企画者： 走井 洋一 (立教大学)
司会者： 走井 洋一 (立教大学)
報告者： 尾崎 正美 (瀬戸内市立国府小学校)
町田 晃大 (足立区立古千谷小学校)
山本 理恵 (東金市立東中学校)
指定討論者：足立 佳菜 (佐賀大学)

第12部会

【2号棟 4階401教室】

テーマ 「“認め、励ます” 評価とは - 引率型の道德授業から伴走型の道德授業へ - 」

企画者： 谷口 雄一 (摂南大学)
報告者： 彦阪 聖子 (堺市立市小学校)
片山 健治 (岡山県立岡山大安寺中等教育学校)
安井 政樹 (札幌国際大学)

【2024年6月30日(日)】

■ 自由研究発表<14分科会> (9:00~11:50)
(各発表: 発表20分、質疑10分)

会場: 2号棟2・3・4階

第1分科会	司会 : 澤田 浩一 (國學院大學)	【2号棟 2階201教室】
9:00~9:30	中川雅道 (神戸大学附属中等教育学校) 「子どものための哲学をもとにした道徳教育の構築」	
9:35~10:05	澤井 史郎 (インターナショナルイスラーミアスクール大塚) 「イスラム学校における道徳性育成の課題」	
10:10~10:40	尾崎 恭一 (奨哲会) 「人権と国家主権は死刑制度にどう関わるか」	
10:45~11:15	渋山 昌雄 (宮崎産業経営大学) 「道徳の普遍性についての一考察 (カントの道徳哲学をてがかりに)」	
第2分科会	司会 : 和井内 良樹 (宇都宮大学)	【2号棟 2階202教室】
9:00~9:30	○瓜生原 葉子 (同志社大学) / 多田 義男 (筑波大学附属中学校) 「臓器移植を題材とした授業の指導方法の開発 - 全中学校を対象としたアンケート調査結果から現代的課題について考える道徳の授業 -」	
9:35~10:05	遠藤 信幸 (東京学芸大学附属小金井小学校) 「複数時間で展開する道徳授業のモデル化の一考察~小学校学習指導要領や教科書教材等の検討を通して~」	
10:10~10:40	○弘田 敏基 (京都市立花山中学校) / 町田晃大 (足立区立古千谷小学校) 「現象学的哲学対話を取り入れた道徳科の授業 (理論)」	
10:45~11:15	○町田 晃大 (足立区立古千谷小学校) / 弘田 敏基 (京都市立花山中学校) 「現象学的哲学対話を取り入れた道徳科の授業 (実践)」	
11:20~11:50	丸矢 浩輝 (斜里町立朝日小学校) / 安井 政樹 (札幌国際大学) 「道徳科の学び方を学ぶ指導についての一考察」	
第3分科会	司会 : 浅見 哲也 (十文字学園女子大学)	【2号棟 3階301教室】
9:00~9:30	山田 貞二 (岐阜聖徳学園大学) 「道徳科授業における深化発問の在り方に関する一提案」	
9:35~10:05	山本 孔輝 (尼崎市立明城小学校) 「言語の共通理解を取り入れた道徳授業」	
10:10~10:40	山本 理恵 (東金市立東中学校) 「道徳科の授業実践が及ぼす授業者の力量向上への影響」	
10:45~11:15	松原 弘 (和泉市立郷荘中学校) 「ねらい (内容項目) にせまるための一考察~『ブランコ乗りとピエロ』はピエロ目線だけなのか~」	
11:20~11:50	賞雅 枝子 (東京家政大学附属女子中学校高等学校) 「考えを深める道徳科授業とICTの活用の在り方」	

第4分科会

司会 : 飯塚 秀彦 (長野大学)

【 2号棟 3階 302 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

森 美香 (千葉大学)

「新しい教科書の活用に関する一考察 - 学び方に着目して - 」

9 : 35 ~ 10 : 05

○杉本 遼 (足立区立足立小学校) / 高宮正貴 (大阪体育大学)

「倫理学の知見に基づく道徳科の単元開発とその検証〜『多様性』を中心的な概念に位置付けた単元での子どもの姿を通して〜」

10 : 10 ~ 10 : 40

大橋 立明 (長岡市立山本中学校)

『『二つの意見』を用いた道徳授業モデルの効果の検証〜道徳授業が苦手な先生のために〜』

10 : 45 ~ 11 : 15

竹井 秀文 (名古屋市立吉根小学校)

「未来志向に立つ道徳授業の開発と実践〜解決志向ブリーフセラピー を活用して〜」

11 : 20 ~ 11 : 50

寺崎 賢一 (元都留文科大学)

「カント道徳への誤解を正す」

第5分科会

司会 : 七條 正典 (香川大学 (名))

【 2号棟 3階 311 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

中野 啓明 (新潟青陵大学)

『『振り返り』の記録のデータベース化による評価システム開発の構想』

9 : 35 ~ 10 : 05

中野 真悟 (愛知学泉大学)

「道徳教育に関する児童の自己評価と教員の評価との関連」

10 : 10 ~ 10 : 40

山田 将之 (盛岡市立上田中学校)

「自分の芯を創る道徳科カリキュラム“Dotoquest”の開発」

10 : 45 ~ 11 : 15

○田中 大輔 (浦安市立入船中学校) / 富岡 栄 (麗澤大学)

「自己の生き方についての考えを深める道徳科の授業の研究 - 納得解の紡ぎと、ルーブリックを活用した振り返り活動による学習改善を通して - 」

11 : 20 ~ 11 : 50

那倉 康知 (淡路市教育委員会)

「心をはたらかせて考える道徳の授業づくり」

第6分科会

司会 : 宮嶋 秀光 (名城大学)

【 2号棟 3階 312 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

○範 蘭心 (東京学芸大学) / 永田 繁雄 (東京学芸大学)

『『特別の教科 道徳』に対する教員の意識と取り組み - 道徳教育に関する全国アンケート調査の結果に基づいて - 』

9 : 35 ~ 10 : 05

尾崎 正美 (瀬戸内市立国府小学校)

「子どもの問いを軸に展開するサーチライト型道徳の実践」

10 : 10 ~ 10 : 40

本島 佑樹 (ふじみ野市立大井中学校)

「道徳科に『対話的な活動』を取り入れる意義とその指導法 - 生徒の学習の深まり方と教師の働きかけ方 - 」

10 : 45 ~ 11 : 15

真壁 佑輔 (北海道教育大学大学院生)

「リフレクションによる中学校教師の道徳科授業改善に関する実践 - 授業を可視化する『構造化シート』を活用して - 」

11 : 20 ~ 11 : 50

○矢作 信行 (帝京平成大学) / 菅野 友将 (川口市立根岸小学校)

「生成AI を活用した道徳科授業の可能性」

第7分科会

司会 : 杉中 康平 (四天王寺大学)

【 2号棟 3階313教室 】

9:00~9:30

由良 健一 (尼崎市立わかば西小学校)

「子どものおたずねを軸にした道徳科授業VI~低中高学年における子どもの『おたずね』の有効性について」

9:35~10:05

高口 涼 (富士市立東小学校)

「道徳教育の全体計画作成に関する研究 - 別葉作成の分析を中心に -」

10:10~10:40

安井 政樹 (札幌国際大学)

「『特別の教科 道徳』の教科書に関する一考察 - 教科書の編集にみる今求められる道徳学習」

10:45~11:15

及川 仁美 (盛岡市立厨川中学校)

「社会につながる道徳科授業づくり~関連項目で広がる学びをつくる~」

11:20~11:50

橋本 唯隆 (教育研究家)

「現行授業に意味、成果はあるか?授業の質は教師の質次第、学会の存在意義を問う」

第8分科会

司会 : 島 恒生 (畿央大学)

【 2号棟 3階314教室 】

9:00~9:30

谷山 優子 (神戸女子大学)

「支援ニーズのある生徒のウェルビーイングの追求 - A 高等学校におけるアクションリサーチから -」

9:35~10:05

○川井 優子 (東京学芸大学附属小金井小学校) / 齋藤大地 (宇都宮大学) /

中村 昌宏 (東京学芸大学附属特別支援学校)

「知的障害特別支援学校の高等部における道徳教育実践」

10:10~10:40

間中 崇史 (埼玉県立越谷西特別支援学校)

「長期不登校生徒への認知行動療法的支援による道徳性の形成 - 自立活動によるソーシャルスキルトレーニングを手掛かりとして -」

10:45~11:15

○末永 萌香 (塩竈市立第三小学校) / 杉本 遼 (足立区立足立小学校)

「一人の子どもの学びにフォーカスしてつくる特別支援学級の道徳授業」

第9分科会

司会 : 柴原 弘志 (京都産業大学)

【 2号棟 3階316教室 】

9:00~9:30

○笠井 善亮 (流山市立東深井中学校) / 天野 幸輔 (名古屋学院大学)

「中学校がん教育における道徳科授業の実践とその在り方・可能性の検討① - 文部科学省『がん教育推進のための教材』を用いた複数指導案による全校体制での実践研究の目的と方法 -」

9:35~10:05

○天野 幸輔 (名古屋学院大学) / 笠井 善亮 (流山市立東深井中学校)

「中学校がん教育における道徳科授業の実践とその在り方・可能性の検討② - 生徒の学びと教材における内容項目の検討 -」

10:10~10:40

山田 美香 (名古屋市立大学)

「台湾の高校における生命教育と道徳教育」

10:45~11:15

末永 琢也 (高知大学)

「子どもの市民性を育成する道徳教育の可能性」

11:20~11:50

佐々木 篤史 (弘前大学教育学部附属中学校)

「『道徳的行為に関する体験的な学習』の哲学的意義」

第10分科会

司会 : 植田 和也 (香川大学)

【 2号棟 4階 401 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

岡島 佑樹 (海津市立城山小学校)

「よりよい生き方を考え、実践する児童の育成 - 道徳科におけるデス・エデュケーションの実践を通して -」

9 : 35 ~ 10 : 05

阪本 景子 (東海市立名和中学校)

『調和と協調』に基づく、ウェルビーイングを生かした発達指示的生徒指導」

10 : 10 ~ 10 : 40

柴 正樹 (豊山町立豊山中学校)

『ナナメの関係を活かし合って自分で創り立つ』道徳科・道徳教育の実践～オルティナティブ教育の現状から学ぶ実践的提案～」

10 : 45 ~ 11 : 15

柴田 八重子 (愛知淑徳大学)

『自分達の未来を自分達で創る』創造・探求のある道徳科・道徳教育の実践～オルターナティブ教育と現行学校教育の双方向からの実践から学ぶ実践的提案～」

11 : 20 ~ 11 : 50

杉浦 浩 (神戸市立つつじが丘小学校)

「道徳教育から生まれる幸せ サイコエデュケーションでウェルビーイングに向けての実践と研究」

第11分科会

司会 : 秋山 博正 (兵庫教育大学)

【 2号棟 4階 402 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

石川 雅春 (名古屋学芸大学)

「Well-being 理念を大切にされた道徳教育の推進」

9 : 35 ~ 10 : 05

糟谷 樹理 (仙台市立北六番丁小学校)

「ウェルビーイングを目指して、自分らしく成長する教師～道徳授業の再構成～」

10 : 10 ~ 10 : 40

谷口 雄一 (摂南大学)

「共同エージェンシーに関わる被教育体験と教育者としての実践との関係について」

10 : 45 ~ 11 : 15

古見 豪基 (和光市立第四小学校)

『次世代型道徳授業デザインの追究』～教科等横断的カリキュラム・デザインを通して児童の主体性を伸ばす～ (『生命尊重』を軸に学びをデザインする)」

11 : 20 ~ 11 : 50

田村 博久 (道徳教育アドバイザー)

『「・・・は幸せか」を中心課題とした中学校道徳授業の検証」

第12分科会

司会 : 白木 みどり (金沢工業大学)

【 2号棟 4階 404 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

平 真由子 (金沢工業大学)

「道徳科授業におけるウェルビーイング・コンピテンシーの育成に焦点を当てた実践的研究」

9 : 35 ~ 10 : 05

片山 峻河 (東広島市立三ツ城小学校)

「幸せを創り出す学級経営に関する実践的研究～自己を見つめる省察的な取り組みを通して～」

10 : 10 ~ 10 : 40

野本 玲子 (神戸医療未来大学)

「ウェルビーイングを実現しようとする力」

10 : 45 ~ 11 : 15

齋藤 道子 (目白大学)

「よりよい自己と社会の形成へと向かう道徳教育の研究 I - コンピテンシー志向に基づく実践哲学における取組の分析 -」

11 : 20 ~ 11 : 50

星 美由紀 (郡山市立郡山第三中学校)

「行事と道徳授業の連携 - 最高学年としての生徒の成長 -」

第13分科会

司会 : 林 敦司 (兵庫大学)

【 2号棟 4階 405 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

尾崎 雅斗 (西尾市立西尾小学校)

「教科等横断的な学習を取り入れたパッケージ型ユニット - 中心発問・意思表示の工夫や問い返し・切り返しを手立てとして - 」

9 : 35 ~ 10 : 05

友延 倫子 (大野城市立大和小学校)

「自他の生命を大切にする子どもを育てる道徳教育～道徳科を要とした単元構成を通して」

10 : 10 ~ 10 : 40

○丸岡 慎弥 (立命館小学校) / 平 真由子 (金沢工業大学)

「道徳授業における授業者のやりがいに関する研究」

10 : 45 ~ 11 : 15

幸阪 創平 (東京学芸大学附属竹早小学校)

「メタバース空間『集まれ! どうトークの森』における道徳対話の可能性-目に見えるものは見ない『考え議論する道徳』-」

11 : 20 ~ 11 : 50

○箱崎 由衣 (東京学芸大学附属世田谷小学校) / 根岸陽月 (立川市立若葉台小学校) / 遠藤信幸 (東京学芸大学附属小金井小学校)

「子どもが自己の生き方を切り拓く道徳科授業のあり方 - Agency を発揮させる指導の検討 - 」

第14分科会

司会 : 渡邊 真魚 (日本大学)

【 2号棟 4階 406 教室 】

9 : 00 ~ 9 : 30

○浅部 航太 (東京学芸大学) / 鈴木 賢一 (弥富市立十四山東部小学校)

「児童が自己の生き方についての考えを深めるプロセスの追究 - 複線径路等至性アプローチ (TEA) による理解を通して - 」

9 : 35 ~ 10 : 05

○土田 雄一 (敬愛大学) / 松田 憲子 (神田外語大学)

「道徳科授業研究の影響 - 道徳研究校教員の意識調査を通して - 」

10 : 10 ~ 10 : 40

尾花 桃代 (船橋市教育委員会)

「道徳科における模擬授業を取り入れた研修の効果」

10 : 45 ~ 11 : 15

木下 美紀 (福津市立勝浦小学校)

「若手教師の授業力向上をめざした道徳科授業研修における一方途」

11 : 20 ~ 11 : 50

○高宮 正貴 (大阪体育大学) / 彦阪 聖子 (堺市立市小学校)

「次世代の道徳科を支える教員を育むために何が必要なのか? - ある大学生に対するインタビュー調査から」

■ 総会 (13:00~14:00) 会場: 2号棟 2階 201大講義室

■ シンポジウム (14:10~16:10) 会場: 2号棟 2階 201大講義室

テーマ: ウェルビーイングと道徳教育 - 道徳教育の現状とこれからの展望

コーディネーター: 走井 洋一 (立教大学)

シンポジスト: 柴田 和美 (小松市立串長学校)

園山久美子 (横浜市立樽町中学校)

高嶋 智之 (金沢高等学校)

荒木 寿友 (立命館大学)

■ 閉会行事 (16:10~16:20) 会場: 2号棟 2階 201大講義室

次回開催校挨拶 (藤井 基貴・日本道徳教育学会第104回大会運営委員長)

副会長挨拶 (西野真由美・日本道徳教育学会副会長)

会場までのアクセス

<金沢市までのアクセス>

- 北海道方面から・・・飛行機(小松空港から)をご利用ください。
- 東北方面から・・・飛行機、東北・上越新幹線(大宮乗換)北陸新幹線をご利用ください。
- 東京方面から・・・北陸新幹線をご利用ください。
- 名古屋方面から・・・米原から北陸本線(敦賀乗換)・北陸新幹線をご利用ください。
- 京都・大阪方面から・・・北陸本線(敦賀乗換)・北陸新幹線をご利用ください。
- 福岡方面から・・・飛行機(小松空港から)をご利用ください。

※詳細は、「金沢コンベンションビューロー」右記のQRコードやHPから入って、「金沢までのアクセス」サイトをご参照ください。

<https://www.kanazawa-cb.com/3access.html>



<北陸大学までのアクセスと帰路>

■タクシーを利用する場合

金沢駅兼六園口(東口)より乗車 → 所要時間約30分

■北陸鉄道バスを利用する場合

金沢駅兼六園口(東口)8番乗場より旭町経由「北陸大学行」乗車→所要時間約30分

学会当日(6月29日・30日)は、臨時便を増発いたします。

情報交換会終了時に、金沢駅東口行のバスが19:05・20:00・20:30(増便)に発車します。

閉会式終了時に、金沢駅東口行のバスが、16:00・16:30(増便)・17:05に発車します。

当日のバスの時刻表は、次のページのQRコードからPeatixに入り確認することができます。

大会への参加にあたって

■申込方法・参加費納入方法(発表等申し込まれた会員も参加申込が必要です)

日本道德教育学会のホームページ、または右のQRコードから、Peatix サイトに入ってください、「大会への参加申込」からお申込みください。
参加の申し込み期限は、6月15日(土)17:00までとなります。



<https://peatix.com/event/3834477>

なお、大会当日の参加申込はできません。事前申込にご協力ください。
また、入会手続きのない会員及び年会費未納の会員は発表資格がありません。ご注意ください。

■大会受付

6月29日(土)12時30分から、北陸大学太陽が丘キャンパス1階エントランスで受付を行ってください。ネックストラップの参加証をお受け取り下さい。参加費等の領収証が入っています。

6月30日(日)8時30分から、同 1階エントランスで受付を行ってください。

■発表用資料は、50部程度ご用意ください。

■宿泊先・昼食について

宿泊先については、会員各自で手配するようにお願いいたします。観光および災害ボランティア等の宿泊により宿泊客の増加が予想されます。早めの予約をお勧めいたします。

昼食については、会員各自で用意されるか、もしくは学内のカフェテリア(営業時間:11時~13時)をご利用ください。6月30日(日)(大会2日目)のみ営業いたします。

■情報交換会

情報交換会の参加費は、5,500円になります。大会参加費と同時に納入してください。会場は、大会会場1階カフェテリアです。

■ラウンドテーブル及び自由研究発表会場の施設・設備

パソコンを使用する場合は、各自でご持参ください。全会場とも、接続はHDMI・RGB接続が可能です。変換アダプタ等は各自でご用意ください。なお、学内の無線LAN(Wi-Fi)は、学外の方は利用できません。ご注意ください。

■その他

大会期間中は、クローク等は設置していません。基本的には、荷物は各自で管理するようお願いいたします。ただし、ご不便を感じられる場合には、どうぞご遠慮なく、事前もしくは当日に、受付でご相談ください。

全ての会場で、駐車場は用意していません。自家用車のご利用はご遠慮ください。公共交通機関のご利用をお願いします。

*** 能登半島地震支援募金のお願い ***

令和6年能登半島地震での被災された方への能登半島地震支援募金を、大会期間中に1階エントランスで受付けております。みなさまのあたたかいお気持ちをよろしくお願い申し上げます。